



立 田 慶 裕 教 授

経 歴

【学 歴】

- 1972年3月 私立甲陽学院高校卒業
1972年4月 大阪大学人間科学部入学
1976年3月 大阪大学人間科学部卒業（社会学士）
1979年3月 大阪大学大学院人間科学研究科前期（修士）課程修了（教育学修士）
1980年3月 大阪大学大学院人間科学研究科後期（博士）課程単位取得退学

【職 歴】

- 1980年4月 大阪大学人間科学部社会教育論講座助手
1985年4月 東海大学文明研究所専任講師
1988年4月 東海大学文明研究所助教授
1991年10月 国立教育研究所生涯学習研究部主任研究官（～1994年3月）
1993年4月 文部省生涯学習局生涯学習調査官（～1997年3月）兼務
1994年1月 ドイツ・ユネスコ教育研究所理事代理（～1997年12月）兼務
1994年4月 国立教育研究所生涯学習研究部生涯学習開発・評価研究室 室長
1998年1月 ドイツ・ユネスコ教育研究所理事（～2002年12月）兼務
2000年4月 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官（～2014年3月）
2014年4月 神戸学院大学人文学部教授
2018年4月 放送大学客員教授（兼務）（～2022年9月）
2018年4月 神戸学院大学教職教育センター副センター長（～2023年3月）
2024年3月 神戸学院大学定年退職

【非常勤】

- 大阪大学（人間科学研究科） 1998年4月～1999年3月
神奈川大学（教職課程 生涯学習論） 1999年4月～2003年3月
東京大学（大学院教育行政コース） 2000年4月～2001年3月
大阪大学（人間科学研究科） 2000年4月～2001年3月
上智大学（文学研究科教育学専攻） 2001年4月～2006年3月
青山学院大学（文学部教育学専攻） 2001年4月～2007年3月
鳴門教育大学（学校教育学部 生涯学習論担当） 2001年4月～2024年3月（隔年）
大阪大学（人間科学研究科） 2002年4月～2003年3月
東京大学（大学院教育行政コース） 2004年4月～2005年3月
大阪大学（人間科学研究科） 2004年4月～2005年3月
法政大学キャリアデザイン学部 2005年4月～2006年3月
東京大学（教育学部社会教育学基礎理論） 2005年4月～2008年3月
徳島大学（教職課程 生涯学習論） 2009年4月～2010年3月
法政大学大学院キャリアデザイン研究科 2009年4月～2010年3月
京都学園大学（集中講義 教育方法論） 2015年～2018年
京都先端科学技術大学（集中講義 教育方法論） 2019年～2020年

研究業績

【主な著作】

(単著)

- 『社会教育調査の技術 I』 国立教育会館社会教育研修所、1988年
『キー・コンピテンシーの実践』 明石書店、2014年 3月
『生涯学習の新しい動向と課題』 放送大学教育振興会、2018年 3月
『世界の大学図書館』 明石書店、2024年 4月刊行予定

(編著)

1. 『ライフロング・ソシオロジー』. 元田州彦と共編. 東海大学出版会. pp.79-115担当. 1991年
2. 『拓きゆく生涯学習』. 西野仁、田中雅文と共編. 学文社. pp.112-159担当. 1995年
3. 『生涯学習の現代的課題』. 全日本社会教育連合会. pp.127-166担当. 1996年
4. 『学びのスタイル』. 赤尾勝己と共編. 玉川大学出版部. pp.15-26、pp.92-106、pp.213-231担当. 1996年
5. 『学びのデザイン』. 赤尾勝己と共編. 玉川大学出版部. pp.12-29、pp.140-159担当. 1998年
6. 『生涯学習論』. 川野辺敏と共編. 福村出版. pp.128-140担当. 1999年
7. 『メディアと生涯学習』. 笹井宏益と共編. 玉川大学出版部. pp.1-8、pp.17-82担当. 2000年
8. 『公民館事業Q & A』. 坂井知志と共編. ぎょうせい. pp.8-13、pp.16-23、pp.72-79、pp.162-175、pp.240-242担当. 2000年
9. 『勉強せえ』. 鍋島祥郎と共編. 日常出版. pp.67-84担当. 2003年
10. 『人生を変える生涯学習の力』. 小宮山博仁と共編. 新評論. pp. i ~viii、pp.162-187担当. 2004年
11. 『参加して学ぶボランティア』. 玉川大学出版部. pp.3-5、pp.11-23、pp.24-49、pp.169-181担当. 2004年
12. 『教育研究ハンドブック』. 世界思想社. pp.iii ~vi、pp.28-39、pp.229-257担当. 2005年
13. 『家庭・学校・地域を育む発達資産—新しい視点の生涯学習』. 岩槻知也と共編. 北大路書房. pp.148-164担当. 2007年
14. 『学校教員の現代的課題』. 今西幸蔵と共編. 法律文化社. pp.2-17、pp.40-48担当. 2010年
15. 『教師のための防災教育ハンドブック』. 学文社. pp.1-7、pp.149-162、pp.173-182担当. 2013年
16. 『読書教育の方法—学校図書館の活用に向けて』. 学文社. pp. i ~iv、pp.3~18、pp.223-225担当. 2015年

17. 『読書教育のすすめ—学校図書館と人間形成』. pp. i -ix、pp.3-18、pp.217-232. 学文社.
2023年10月

(共著)

1. 『公民館の活性化への途』. 岡本包治他編. pp.133-142担当. 日常出版. 1988年
2. 『高齢化社会の諸問題』. 立山龍彦編. pp.213-232担当. 東海大学出版会. 1991年
3. 『生涯学習概論』. 香川正弘編. pp.69-87担当. 東洋館出版社. 1992年
4. 『地方自治体と生涯学習』. 日本社会教育学会編. pp.53-68担当. 日本の社会教育第38集. 東洋館出版社. 1994年
5. 『変化の時代の学校像』. 菱村幸彦編著. pp.14-17担当. 教育開発研究所. 1995年
6. 『新学力観に立つ5日制学校経営』. 教職研修編集部. 「地域に開かれた学校づくり」担当. 教育開発研究所. 1996年
7. 『教職「大変な時代」』. 牧昌見編著. pp.214-219担当. 教育開発研究所. 1997年
8. 『広がる学び開かれる大学—生涯学習時代の新しい試み—』. 小野元之・香川正弘編著. pp.20-33担当. ミネルヴァ書房. 1998年
9. 『フロンティア人間科学』. 中島義章他と共著. pp.66-77担当. 放送大学教育振興会. 1998年
10. 『事例に学ぶ学校と地域のネットワーク』. 今野雅裕らと共著. pp.17-19、pp.246-248担当. ぎょうせい. 1998年
11. 『柔軟な教育課程の編成』. 新井郁男編. pp.92-98担当. 教育開発研究所. 1999年
12. 『「総合的な学習の時間」で基礎的素養を育む』. 山極隆編著. pp.250-253担当. 教育開発研究所. 1999年
13. 『中学校「総合的な学習の時間」』. 高階怜治編. pp.67-69担当. 教育開発研究所. 1999年
14. 『社会教育委員のための生涯学習』. 伊藤俊夫. pp.63-68、pp.81-86担当. 全日本社会教育連合会. 1999年
15. 『科学的方法論の近代と教養教育研究』 東海大学文明研究所編、「大学教育の変容と課題—探求型学習の可能性」 pp.2-30担当. 2000年3月
16. 『私らしい生きかたを求めて—女性の生涯学習』. 岩崎久美子他編著. pp.174-198担当. 玉川大学出版部. 2002年
17. 『生涯学習社会の学習論』. 鈴木眞理・永井建夫編. pp.113-132担当. 学文社. 2003年
18. 『メディア・リテラシーへの招待』. 国立教育政策研究所編. pp.7-13、pp.157-169担当. 東洋館出版社. 2004年
19. 『生涯学習理論を学ぶ人のために』. 赤尾勝己編. pp.227-259担当. 世界思想社. 2004年
20. 『教育改革の論争点』. 市川昭午編. pp.164-165担当. 教育開発研究所. 2004年
21. 『講座現代社会教育の理論①現代教育改革と社会教育』. 日本社会教育学会編. pp.67-84担当. 東洋館出版社. 2004年

22. 『新社会教育委員手帳』. 坂本登編. pp.251-261担当. 日常出版. 2005年
23. 『生涯学習概論』. 伊藤俊夫編著. pp.20-25担当. 文憲堂. 2006年
24. 『大学生活ナビ』. 玉川大学コア FYE 教育センター編. pp.278-291担当. 玉川大学出版部. 2006年
25. 『現代のエスプリ生涯学習社会の諸相』. 赤尾勝己編. pp.68~81、pp.156~168担当. 至文堂. 2006年
26. 『キャリア教育への招待』. 国立教育政策研究所編. pp.95-103担当. 東洋館出版社. 2007年
27. 『教師のための防災教育ハンドブック』. 山田兼尚編著. pp.144-157担当. 学文社. 2007年
28. 『よくわかる生涯学習』. 鈴木真理他編. pp.200-203担当. ミネルヴァ書房. 2008年
29. 『健康教育への招待』. 国立教育政策研究所編. pp.5-20、pp.149-168、pp.281-293担当. 東洋館出版社. 2008年
30. 『改訂実践教育評価事典』. 梶田叡一他編. pp.162-163担当. 文溪堂. 2010年
31. 『読書教育への招待』. 国立教育政策研究所編. pp.5-11、pp.204-226担当. 東洋館出版社. 2010年
32. 『生涯学習の理論—新たなパースペクティブ』井上豊久他と共著. pp.7-13、pp.48-68、pp.180-202担当. 福村出版. 2011年
33. 『成人力とは何か』. 国立教育政策研究所編. pp.25-51、pp.71-103、pp.167-183担当. 明石書店. 2012年
34. 『よくわかる教育学原論』. 安彦忠彦他編. pp.236-237、pp.238-239担当. ミネルヴァ書房. 2012年
35. 『ながお先生と考える学校安全36のナラティブ』. 長尾彰夫編著. pp.142-147担当. 教育出版. 2013年
36. 『PISA 型学力を育てる』. 日本人間教育学会編. 教育フォーラム Vol.57. pp.6-17担当、2016年2月
37. 『図書館と学校が地域をつくる』公益財団法人図書館振興財団. 「第10章 地域コンクールに取り組むきっかけとその成果」担当、学文社. 2016年11月
38. 『新版よくわかる教育学原論』安彦忠彦他と共著. pp.244-247. ミネルヴァ書房. 2020年5月

【翻訳】

1. Cummings. W. K. (1980)、“Education and Equality in Japan”、『ニッポンの学校』友田泰正監訳、サイマル出版会、pp.56-99、pp.100-131担当、1981年
2. Almond. B. & Wilson. B. (1988)、“Values”、『価値』玉井治・山本慶裕訳、東海大学出版会、pp.111-171担当、1994年
3. Federighi. P. Edit.(1998)、“Glossary of Adult Learning In Europe”、『国際生涯学習キーワード事典』佐藤一子・三輪健二監訳、東洋館出版社、p.23、pp.37-38、pp.42-43、p.64、

- pp.112-113、p.131、p.178、p.180、pp.183-184担当、2001年
4. Merriam. S. B. & Caffarella. R. S. (1998)、“Learning in Adulthood”『成人期の学習』立田慶裕・三輪建二監訳、鳳出版、pp.229-261、pp.483-492、pp.317-319担当、2005年
 5. OECD (2004)、“Lessons in Danger”、『学校の安全と危機管理』監訳 (安藤友紀と共訳)、明石書店、pp.3-180担当、2005年
 6. OECD 教育研究革新センター (2006)、“Think Scenarios. Rethink Education”、『OECD 未来の教育改革 教育のシナリオ—未来思考による新たな学校像』監訳 (伊藤素江他と共訳)、pp.3-85担当、明石書店、2006年
 7. Rychen. D. S. & Salganik. L. H. (2003)、“Key Competencies for Successful Life and Well-Functioning society”、『キー・コンピテンシー—国際標準の学力をめざして』監訳、明石書店、pp.3-33、pp.193-228担当、2006年
 8. OECD 教育研究革新センター (2008)、“Trend Shaping Education”、『教育のトレンド』監訳、座波圭美と共訳、pp.49-56、pp.71-80担当、明石書店、2009年
 9. OECD 教育研究革新センター (2007)、“Human Capital: How What You Know Shapes Your Life”、『よくわかるヒューマン・キャピタル—知ることがいかに人生を形作るか』、明石書店、2010年
 10. OECD (2005)、“Promoting Adult Learning”、『世界の生涯学習—成人学習の促進に向けて』監訳、長岡智寿子他と共訳、pp.13-23担当、明石書店、pp.5-23、pp.163-164担当、2010年
 11. Merriam. S. B. edit. (2008)、“Third Update on Adult Learning Theory”、『成人学習理論の新しい動向』岩崎久美子他と共訳、福村出版、pp.7-8、pp.12-16、pp.46-59、pp.105-118、pp.140-141担当、2010年
 12. Fields. J. (2005)、“Social Capital and Lifelong Learning”、『ソーシャルキャピタルと生涯学習』矢野裕俊監訳、東信堂、pp.47-98担当、2011年
 13. OECD 教育研究革新センター (2010)、“Trend Shaping Education 2010”、『教育のトレンド2』監訳、宮田緑と共訳、明石書店、2011年
 14. OECD 教育研究革新センター (2010)、“Improving Health and Social Cohesion Through Education”、『教育と健康・社会的関与—学習の社会的成果を検証する』矢野裕敏他と共訳、明石書店、pp.221-245担当、2011年
 15. OECD 教育研究革新センター (2000)、“Knowledge Management in the Learning Society”、『知識の創造・普及・活用—学習社会のナレッジ・マネジメント』監訳、織田泰幸他と共訳、明石書店、pp.3-194、pp.495-501担当、2012年
 16. Rossiter. M. & Clark M. C. (2010)、“Narrative Perspectives on Adult Education”、『成人のナラティブ学習—人生の可能性を拓くアプローチ』岩崎久美子他と共訳、福村出版、pp.66-84、pp.145-148担当、2012年
 17. OECD 教育研究革新センター (2010)、“The Nature of Learning”、『学習の本質—研究の活用から実践へ』立田慶裕・平沢安政監訳、明石書店、pp.3-24、pp.363-405、pp.410-414担当、2013年

18. Lawrence. R. L. (2012)、“Bodies of Knowledge: Embodied Learning in Adult education”、『身体知—成人教育における身体化された学習』岩崎久美子他と共訳. pp. 3-8. pp.17-28担当. 福村出版. 2016年3月
19. OECD 教育研究革新センター (2013)、“Innovative Learning Environment”、『学習の環境—イノベーティブな実践に向けて』監訳. pp.3-17. pp.243-291. pp.317-355担当、2023年3月

【事典】

1. 『生涯学習事典』日本生涯教育学会編、東京書籍刊、「民間教育事業」担当1990年
2. 『国際生涯学習キーワード事典』パオロ・フェリーギ編佐藤一子・三輪健二監訳、p.23, pp.37-38, pp.42-43, p.84, pp.112-113, p.131, p.178, p.180, p.183-184, 2001年9月
3. 『新版現代学校教育大事典』安彦忠彦他編、ぎょうせい刊、「社会体育」「社会体育施設」「巡回相談」「生涯設計」「人材バンク」、「モデル・コミュニティ」担当、2002年
4. 『生涯学習・社会教育実践用語解説』伊藤俊夫編著、全日本社会教育連合会刊、「男女共同参画社会」「生活設計」「高齢者教育」「少子化社会」担当、2002年
5. 『新版学校教育事典』新井郁男編著、教育出版刊、「公開講座」「学校外教育」「公民館」「ボーイスカウト・ガールスカウト」「生涯学習審議会」「専門学校」「朝の読書運動」「音楽文化振興法」「高校開放講座」「高齢者教育」「生涯学習フェスティバル」「成人学校」「世代間交流」「まなびネット」「ジェルピ」「ラングラン」担当、2002年刊
6. 『生涯学習 e 事典』日本生涯教育学会編、「知識社会と生涯学習」(2006年)、「学習する組織」(2006年)、「キー・コンピテンシーと生涯学習」(2008年)担当、(<http://ejiten.javea.or.jp/> 2024/02/09取得)
7. 『改訂実践教育評価事典』梶田叡一他編、文溪堂刊、「キー・コンピテンシーとリテラシー」担当、2010年

【報告書】

1. 『子ども文庫に関する調査報告—大阪府茨木市における事例研究』、「第3章 茨木市における文庫活動の背景」担当、大阪大学人間科学部社会教育論講座、1981年2月
2. 『民間教育文化事業（第一次報告）—大阪朝日カルチャーセンターに関する調査研究—』、pp.71-90担当、大阪大学人間科学部社会教育論講座、1981年9月
3. 『大阪市における市民の学習と余暇—都心部住民を対象として—』、pp.3-18、pp.21-36、pp.63-84担当、大阪大学人間科学部社会教育論講座、1982年3月
4. 『ニュータウンの中の図書館—吹田市立千里図書館利用者調査—』、pp.83-92担当、大阪大学人間科学部社会教育論講座刊、1982年、月
5. 『生涯教育に関する基本調査報告書—尼崎市—』、pp.66-86、pp.161-168担当、大阪大学人間科学部社会教育論講座、1983年3月
6. 『民間教育文化事業（第2次報告）総合文化教室に関する調査研究』、pp.57-89担当、大阪大学人間科学部社会教育論講座、1984年11月

7. 『松原の市民図書館—こども文庫から図書館システムへ—』大阪大学人間科学部社会教育論講座、pp.139-209担当、日本図書館研究会、1984年11月
8. 『地域における民間教育関連事業の実施状況に関する事例研究—郊外都市型のカルチャーセンターを中心として—』山本慶裕、総頁担当、東海大学、1988年3月
9. 『自由時間教育(余暇学習)に関する理論的解明』日本余暇文化振興会、pp.102-109担当、日本余暇文化振興会、1991年3月
10. 『生涯学習の事業内容と問題点』国立教育研究所、pp.4-152、pp.265-274担当、ぎょうせい、1992年3月
11. 『生涯学習事業の提供に関する調査研究』全国民間カルチャー協議会、pp.72-79担当、産業研究所、1992年5月
12. 『生涯学習の研究—その理論・現状と展望・調査資料—(上)』国立教育研究所生涯学習研究会、pp.10-18、pp.107-125担当、エムティ出版、1993年3月
13. 『生涯学習の研究—その理論・現状と展望・調査資料—(下)』国立教育研究所生涯学習研究会、pp.269-291担当、エムティ出版、1993年3月
14. 『生涯学習の成果の評価方法に関する実証的研究』、総108頁担当、国立教育研究所(科学研究費報告書)、1993年3月
15. 『生涯学習の知識ネットワーク』山田達雄編、pp.9-26担当、大学経理研究会、1993年5月
16. 『民間カルチャーセンター受講者の学習意識に関する調査研究』全国民間カルチャー事業協議会、pp.46-64担当、産業研究所、1993年6月
17. 『高齢化社会における生涯学習の現状と課題』「高齢化社会に対応した生涯学習政策・プログラムの開発に関する総合的研究」中間報告、生涯学習研究部、共同執筆、国立教育研究所(科学研究費報告書)、1994年3月
18. 'Lifelong learning in Japan' "Lifelong Education in selected Industrialised countries" 所収、川野辺敏他と共著、ユネスコ IIEP、1994年、
19. 『公民館活動の活発化に関する調査研究』全国公民館連合会、pp.3-12、pp.22-28担当、社団法人全国公民館連合会、1994年、
20. 『複合型カルチャーサービス事業の今後の方向に関する調査報告書』全国民間カルチャー協議会、「経営基盤の改善」担当、全国民間カルチャー協議会、1994年、
21. 『生涯学習：日本と世界(下)』川野辺敏編著、pp.287-304担当、エムティ出版、1995年3月
22. 『世代間交流による高齢者の社会参加促進に関する基礎研究論文・資料集』青井和夫他編、pp.95-122担当、長寿社会開発センター、1995年3月
23. 『生涯学習のボランティア・バンクに関する調査研究』山本慶裕編、総頁担当、国立教育研究所(科学研究費報告書)、1996年3月
24. 『高齢化社会に対応した生涯学習の政策・プログラムの開発に関する総合的研究』、総357頁担当、国立教育研究所、1996年3月
25. 『生涯学習社会における民間外国語教育施設の在り方に関する調査研究』、総210頁担

- 当、全国外国語教育振興協会、1996年3月
26. 『Comparative Studies on Lifelong Learning Policies』、pp. 42-49 担当、National institute for Educational Research of Japan and UNESCO Insitute for Education、1997年3月
 27. 『市区町村における生涯学習ボランティアバンクの活性化に関する実証的研究』、総頁担当、国立教育研究所（科学研究費報告書）、1997年3月
 28. 『Research Bulletin of the National institute for Educational Research of Japan』、pp.76-97担当、国立教育研究所、1997年、月
 29. 『生涯学習音楽指導員養成制度への課題』、pp.17-21、pp.22-25担当、財団法人音楽文化創造、1998年3月
 30. 『OECD 国際成人リテラシー調査に対応した成人学習調査に関する研究』文部省科学研究費研究成果報告書（平成8 - 9年度基盤研究A1）、pp.76-85担当、国立教育研究所生涯学習研究部（科学研究費報告書）、1998年3月
 31. 『専門学校における教育改善と18歳人口急減期への対応に関する調査研究』倉内史郎編、pp.86-95、pp.112-128担当、文部省科学研究費研究成果報告書（平成7 - 9年度基盤研究A1）、1998年3月
 32. 『課題別学習プログラムの展開』、pp.3-4、pp.18-23、pp.52-59担当、東京都教育庁生涯学習部、1998年3月
 33. 『マルチメディアと成人を対象とした情報教育の在り方に関する調査研究報告書』水越敏行他と共著、pp.31~74、pp.104~110担当、日本放送教育協会、1998年3月
 34. 『ヨーロッパにおける各国の民間非営利団体（NPO）による生涯学習施策の現状と21世紀への展望』、pp.49-61担当、日本余暇文化振興会、1998年3月
 35. 『事例に学ぶ学校と地域のネットワーク』今野雅裕らと共著、pp.17-19、pp.246-248担当、ぎょうせい、1998年9月
 36. 『学びを創る—参加型講座の開発—』東京都教育庁編、pp.44-51、pp.70-75担当、東京都教育庁生涯学習局生涯学習振興課、1999年3月
 37. 『教育の役割構造の変容に伴う学社連携のパラダイム展開に関する研究』澤野由紀子編、pp.62-105担当、国立教育研究所、1999年3月
 38. 『生涯学習スタッフの養成プログラムの実態に関する国際比較研究』山本慶裕編、pp.99-110、pp.119-124担当、国立教育研究所（科学研究費報告書）、1999年3月
 39. 『現代的課題に対応した公民館の事業企画用ソフトウェアの開発研究』山本慶裕著、総13頁担当、国立教育研究所（科学研究費報告書）、1999年3月
 40. 『生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究—社会教育編—』、pp.72-79、pp.127-140担当、国立教育研究所、1999年10月
 41. 『高等教育機関相互の学習支援ネットワークの形成過程とその制度化に関する総合的研究』鬼頭尚子編、pp.1-16担当、国立教育研究所（科学研究費報告書）、2000年3月
 42. 『高等学校の学校開放講座に関する実証的研究』、pp.29-50、pp.75-82、83-98、pp.111-116担当、国立教育研究所（科学研究費報告書）、2000年3月

43. 『福祉教育・ボランティア学習の構造と実践に関する総合的研究』、pp.114-129担当、国立教育研究所、2001年3月
44. 『男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究報告書』、pp.193-203担当、国立女性教育会館、2001年3月
45. 『生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究—社会教育編第2次報告書』、pp.107-166担当、国立教育政策研究所、2001年9月
46. 『生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究—社会教育編最終報告書』、pp.76-106担当、国立教育政策研究所、2002年3月
47. 『生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究—学校教育編最終報告書』、pp.113-137担当、国立教育政策研究所、2002年3月
48. 『生涯学習社会における知識創造型学習に関する総合的研究』立田慶裕編、pp.1-38担当、国立教育政策研究所、2002年3月
49. 『生涯学習の学習需要の変化に関する縦断的研究』山田兼尚編、pp.71-84担当、国立教育政策研究所(科学研究費報告書)、2002年3月
50. 『生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究—比較教育編最終報告書』、pp.155-159、pp.161-162担当、国立教育政策研究所、2002年11月
51. 『平成14年度社会教育事業の開発・展開に関する調査研究事業 生涯学習センター等の連携方策に関する調査研究報告書』国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編、pp.32-34、pp.35-40担当、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、2003年3月
52. 『平成15年度社会教育事業の開発・展開に関する調査研究事業 生涯学習センター等の連携方策に関する調査研究報告書』国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編、pp.3-21担当、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、2004年3月
53. 『生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究報告書(1)』山田兼尚編、pp.187-206担当、国立教育政策研究所、2005年3月
54. 『成人技能に関する調査研究』平成16年度生涯学習施策に関する調査研究報告書、立田慶裕編、総207頁担当、国立教育政策研究所、2005年3月
55. 『生涯にわたる読書能力の形成に関する総合的研究』立田慶裕編、pp.1-11、pp.43-49担当、科学研究費報告書平成16～18年度基盤研究B、2006年3月
56. 『基礎体力の向上をめざす生涯にわたる健康教育の総合的研究』中間報告書、「健康教育政策に関する主要資料」担当、国立教育政策研究所、2006年3月
57. 『生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究報告書Ⅲ』山田兼尚編、pp.66-75担当、国立教育政策研究所、2006年3月
58. 『International Conference on Education toward Social Capital Formation』、Korean Educational Development Institute Ed.、pp. 31-47 担当、Korean Educational Development Institute、2008年10月
59. 『知識基盤社会を生きる力「キー・コンピテンシー」をめぐる国際的動向』国立教育政策研究所編、pp.61-66担当、国立教育政策研究所、2009年1月

60. 『子どもの読書活動と人材育成に関する調査研究【教員調査ワーキンググループ】報告書』国立青少年教育振興機構、総218頁、リーダーとして監修・執筆、2013年3月
61. 『「子どもの読書活動と人材育成に関する調査研究」【外国調査ワーキンググループ】報告書』第1章を荻野亮吾と共筆、2013年3月
62. 『地域における体力づくりと生涯にわたる健康学習に関する研究報告書—地域力再発見をめざす大学と地域との連携・協働による実践的研究—』神戸学院大学地域研究センター、pp.64-83担当。2014年3月
63. 『PBL学習及び教職課程「履修カルテ」作成のための教育方法論の開発研究』2014年度神戸学院大学教育改革助成金研究成果報告書、総50頁担当、2015年3月
64. 国立教育政策研究所編『多様なパートナーシップによるイノベティブな生涯学習環境の形成に関する研究報告書（国内及び海外の先進的事例調査）』共著。pp.84-90。pp.289-316担当。2016年3月
65. 国立教育政策研究所編『多様なパートナーシップによるイノベティブな生涯学習環境の形成に関する研究報告書（総論）』共著。pp.55-64担当。2016年3月
64. 『eポートフォリオを活用した教育方法論の開発研究』2018年度神戸学院大学教育改革助成金研究成果報告書。単著。全52頁。2019年3月

【学会発表】

1. 「中小企業経営者—その学歴と補充類型」関西教育社会学研究会（神戸女学院大学）、1979年
2. 「中小企業経営者層の形成に関する実証的研究」日本教育社会学大会第31回大会（文教大学）、1979年
3. 「民間教育文化事業に関する調査研究—大阪朝日カルチャーセンターを事例として—」（堀薫夫他と共同発表）日本社会教育学会第28回大会（秋田大学）、1981年
4. 「都心施設における学習者の階層分析」（堀薫夫と共同発表）日本社会教育学会関西6月集会（芦屋市民ホール）、1982年
5. 「都心部住民の学習要求と学習活動に関する階層別分析」（森実他と共同発表）日本教育社会学第34回大会（広島大学）、1982年
6. 「民間教育文化事業の動向と課題」日本社会教育学会第30回大会（大阪大学）、1983年
7. 「公共図書館システムに関する実証的研究—松原市民図書館を事例として—」（永井和子と共同発表）日本社会教育学会第31回大会（東京学芸大学）、1984年
8. 「大企業経営者のキャリア形成について」（高瀬武典と共同発表）日本社会学会第58回大会（横浜市立大学）、1985年
9. 「大企業経営者のキャリア形成について」東海大学現代法研究会（東海大学湘南校舎）、1986年
10. 「民間教育文化事業の現状と課題」日本社会教育学会第33回大会（早稲田大学）1986年
「カルチャーセンターの文化的役割について」東海大学日本文明研究会（東海大学湘南校舎）、1987年

11. 「自治体および民間における生涯教育事業の動向—文部省『生涯教育事業調査』の再考察—」手打明敏、田中雅文他と共同発表、日本生涯教育学会第8回大会(国立教育会館社会教育研修所) 1987年11月
12. 「高度情報化社会における民間教育文化事業の役割」日本社会教育学会第35回大会(九州大学)、1988年10月
13. 「郊外都市型カルチャーセンターの事例研究—受講者の学習経験を中心に—」日本生涯教育学会第9回大会(国立教育会館社会教育研修所)、1988年11月
14. 「有職者の生涯生活設計に関する実証的考察—教職員の生涯生活設計調査結果より—」日本教育社会学会第46回大会(相山学院大学)、1994年10月
15. 「学校教員の生涯学習」北海道教育大学国際シンポジウム「教育系大学における生涯学習と大学開放」、1995年9月
16. 「学社連携・融合事業の社会的効果に関する実証的研究」日本社会教育学会第46回大会(早稲田大学)、加藤かおりと共同発表、1998年
17. 「生涯学習研究の課題を問う」日本生涯教育学会第20回大会(安田女子大学)沖吉和祐・有本章とのシンポジウム、1998年
18. 「生涯学習社会におけるメディアリテラシーに関する総合的研究」日本教育社会学会第53回大会(上智大学)加藤かおり、阿形健司と共同発表、2001年
19. 「生涯学習社会におけるメディアリテラシーに関する総合的研究(1)」日本生涯教育学会第22回大会(国立教育政策研究所)、岩崎久美子、井上豊久と共同発表、2001年
20. 「生涯学習社会におけるメディア・リテラシーに関する総合的研究(2)—ITは職場をどう変えたか—」日本生涯教育学会第23回大会(国立教育政策研究所)岩崎久美子、井上豊久と共同発表、2002年
21. 「知識社会を開く教育経営の可能性—知識社会の教育システム」日本教育経営学会第45回大会(横浜国立大学)シンポジスト、2005年
22. 「大学の教育支援コミュニティの創造に向けて—知識経営モデルの活用—」大学教育学会第2005年度課題研究集会(新潟大学)シンポジスト、2005年
23. 「生涯にわたる読書活動に関する実証的研究」日本教育社会学会第58回大会(大阪教育大学)岩槻知也と共同発表、2006年
24. 「生涯にわたる健康教育に関する調査研究」日本教育社会学会第59回大会(茨城大学)今西幸蔵と共同発表、2007年
25. 「国際成人教育会議の経緯」日本社会教育学会6月集会(日本社会福祉事業大学) 2008年
26. 「キー・コンピテンシーとは」日本看護学教育学会 第18回学術集会(筑波大学)講演、2008年
27. 「言語力の向上をめざす生涯にわたる読書教育の実証的研究」日本生涯教育学会第30回大会(国立教育政策研究所)今西幸蔵、井上豊久、赤尾勝巳と共同発表、2009年
28. 「教育のナレッジマネジメント」日本教育社会学会第62回大会(関西大学)岩崎久美子、初井圭子と共同発表、2010年

【主な学術論文（査読有）】

1. 「中小企業経営者層の学歴と補充類型」大阪大学人間科学部紀要. 第8巻. pp.61-82. 1982年
2. 「民間教育文化事業と公的社会教育の受講者に関する調査研究」『行政改革と社会教育』日本の社会教育第27集、島田修一編、堀薫夫と共著、pp.74-86. 東洋館出版社、1983年
3. 「公共図書館のアクセシビリティに関する実証的研究」大阪大学人間科学部紀要第11号. pp.217-245. 1985年
4. 「カルチャーセンターの地域的特性に関する調査研究」東海大学文明研究所紀要第6号. pp.13-33. 1986年
5. 「生涯教育機関としてのカルチャーセンター—その教育的特性に関する考察—」東海大学文明研究所紀要第7号. pp.1-15. 1987年
6. 「ビジネスエリートの地位達成過程—大企業経営者の出身と経歴に関する調査より—」日本労働協会. 日本労働協会雑誌8月号337号. 高瀬武典と共著、pp.21-32. 1987年
7. 「大企業経営者の地位達成過程に及ぼす準拠人の影響に関する考察」東海大学文明研究所紀要第8号. pp.1-9. 1988年
8. 「高度情報化社会における民間教育文化事業の役割」日本社会教育学会紀要、pp.7-10. 1989年
9. 「民間の生涯学習事業の可能性と問題点」日本生涯教育学会年報第10号. pp.145-162. 1989年
10. 「生涯教育機関としてのカルチャーセンター(2)—『社会教育事業における公共と民間の役割分担論』再考—」東海大学文明研究所紀要第10号. pp.7-22. 1990年
11. 「学校教育と社会教育の連携事業の可能性に関する考察」国立教育研究所研究集録第25号. pp.69-88. 1992年
12. 「市町村における生涯学習体系の制度化に関する実証的考察」『生涯学習体系化と社会教育』日本の社会教育第36集、東洋館出版社、梶田美春と共著、pp.116-124. 1992年10月
13. 「生涯学習支援政策の機能的考察」『地方自治体と生涯学習』日本の社会教育第38集、東洋館出版社、pp.53-68、1994年
14. 「単位取得が可能な学習形態の多様化と生涯学習」日本生涯教育学会年報第16号. pp.65-77. 1995年
15. 「生涯学習社会への移行に関する国際比較研究」澤野由紀子らと共著、日本生涯教育学会論集19. pp.101-108. 1998年
16. 「調査枠組みの構築手法について—分析カテゴリーの工夫—」日本生涯教育学会年報. 20号. pp.87-98. 1999年
17. 「成人の学習能力についての考察—生涯学習社会の文脈から—」日本生涯教育学会年報. 23号. pp.17-37. 2002年
18. 「終章 高度化するメディアリテラシー」国立教育政策研究所紀要第132集. pp.153-168. 2003年

19. 「大学の教育支援コミュニティの創造に向けて—知識経営モデルの活用」大学教育学会誌第28巻第1号. pp.20-23. 2006年
20. 「知識社会の教育システム—教育の工夫と知識の共有化」日本教育経営学会紀要第48号. pp.170-174. 2006年
21. 「共に生きる社会を形成する—学力国際リテラシー調査とキー・コンピテンシー」部落解放研究第170号. pp.2-17. 2006年6月
22. 「成人学習のマタイ効果に関する考察」部落解放研究第175号. pp.62-75. 2007年4月
23. 「生涯学習のためのキー・コンピテンシー」生涯学習・社会教育研究ジャーナル第1号. pp.157-198. 2007年
24. 「知識基盤社会の生涯学習—教育と学習のナレッジ・マネジメントの課題—」日本生涯教育学会年報第31号. pp.97-113. 2010年
25. 「キー・コンピテンシーとしてのリテラシー—各国のナショナルレポートの考察から」日本社会教育学会紀要. No46. pp.147-149. 2010年
26. 「ニュージーランドの教育カリキュラムと学力問題」日本国際教育学会紀要. 第17号. pp.15-29. 2011年
27. 「防災教育の新しい視点—科学的思考力と協同する力、そして物語る力の形成—」九州教育学会研究紀要. 第39巻. pp.7-16. 2012年
28. 「読書活動の成人リテラシーへの影響に関する実証的考察」生涯学習・社会教育研究ジャーナル. 第5号. pp.115-142. 2012年
29. 「文化的コンピテンシーを育てる高校の特別活動と部活動に関する実証的考察」生涯学習・社会教育研究ジャーナル. 第6号. pp.103-118. 2013年
30. 「家庭内読書の教育効果に関する実証的考察」生涯学習・社会教育研究ジャーナル. 第9号. pp.121-139. 2016年
31. 「スマートペンを用いたノートテイキングによる学習効果」福島あずさと共著、神戸学院大学教育開発センタージャーナル第七号、pp.21-33、2016年3月
32. 「読解力の発達を図る学校図書館利用のループリック」. 情報科学技術協会. 情報の科学と技術. No.688. pp.400-405. 2018年
33. 「教員の指導力の自己評価ループリックに関する実験的考察」. 神戸学院大学教職教育センター. 教職教育センタージャーナル. 第6号. pp.37-55. 2020年
34. 「オンライン学習の教育効果に関する考察」『私立大学研究の到達点』. pp.62-65私学高等教育研究所. 2021年3月
35. 「ウェルビーイングの国際的動向と生涯学習」日本生涯教育学会年報第44号. pp.1-19. 2023年

【主な学術論文 (査読なし)】

1. 「郊外都市型カルチャーセンターの事例研究」『社会教育』Vol.44(1)、全日本社会教育連合会、pp.41-53、1989年1月
2. 「カルチャーセンターの動向と課題」『教育と医学』4月号、慶応通信、pp.40-47、1993

年 4 月

3. 「生涯学習時代における資格」『社会教育』通巻579号、全日本社会教育連合会、pp.6-8、1994年
4. 「生涯学習のための都市戦略—OECD 報告の概要」社会教育通巻579号、全日本社会教育連合会、pp.21-25、1995年 2 月
5. 「ボランティア・バンクの活性化に向けて」『社会教育』 9 月号、全日本社会教育連合会、pp.8-12、1995年 9 月
6. 「生涯にわたる発達と家庭の学習」『家庭科』 46巻536-537号、全国家庭科教育協会、pp.9-16、1996年 8 月
7. 「ボランティア活動の教育的意義」教育研究10月号第111号、鹿児島県総合教育センター、pp.10-15、1996年10月
8. 「生涯学習における社会的評価と自己評価」月刊社会教育10月号第40巻10号、国土社、pp.35-44、1996年10月
9. 「成人男性学習者の地域社会参加」『月刊公民館』 484号、全国公民館連合会、pp.5-10、1997年 9 月
10. 「調査枠組みの構築手法について—分析カテゴリーの工夫」『生涯学習研究の課題を問う』 20号、日本生涯教育学会、pp.87-98、1999年11月
11. 「公民館図書室の現状と役割」『月刊公民館』 518号、第一法規、pp.4-9、2000年 7 月
12. 「社会教育スタッフの情報活用能力」『社会教育』 653号、全日本社会教育連合会、pp.10-13、2000年11月
13. 「生涯学習のための新情報技術—情報リテラシーの学習プログラム」『社会教育』654号、全日本社会教育連合会、pp.10-13、2000年12月
14. 「映像の教育的効果」『学校運営』 No474、全国公立学校教頭会、pp.14-17、2001年 1 月
15. 「情報技術を公民館に活かす」『月刊公民館』 528号、第一法規、pp.4-10、2001年 5 月
16. 「学習の可能性—自分の価値を引き出す」『更生保護』 第52巻第 8 号、日本更生保護協会、pp.6-11、2001年 8 月
17. 「発達段階に応じた体験学習」『兵庫教育』 No608、兵庫県立教育研修所、pp.24-29、2001年10月
18. 「学びのプロセス—創造的学習の方法」『全人』 No642、玉川大学出版部、pp.14-19、2001年12月
19. 「生涯学習社会の可能性と課題」『夢耕場』 No13、大阪生涯職業教育振興協会、pp.12-17、2001年12月
20. 「教科を越えた人生の『鍵となる能力』の学習」『教育展望』 第51巻55号、教育調査研究所、pp.30-35、2005年 6 月
21. 「生涯にわたる国語教育と国語学習」月刊国語教育12月号、教育法令、pp.16-19、2006年12月
22. 「『考える力』の定義の国際比較—知識基盤社会の中で」『児童心理』 No869、pp.39-44、2007年12月

23. 「諸外国における学習活動支援の制度的工夫」『社会教育』Vol.65(11)、全日本社会教育連合会、pp.18-23、2010年11月
24. 「OECD 国際成人力調査の意義」社会教育68(11). pp.16-19. 2013年11月
25. 「PIAAC (OECD 国際成人力調査) の概要と期待」部落解放 No.686、解放出版社、pp.46-53、2013年12月
26. 「地域社会と学校の文化の共有について：地域文化の継承と学校行事の考察」社会教育69(1). pp.40-44. 2014年1月
27. 「国際成人力調査の結果に見る日本の教育水準の課題と対策」教育展望60(7). pp.46-50. 2014年
28. 「成人力と生涯学習振興：国際的潮流のなかで」社会教育70(6). pp.26-32. 2015年6月
29. 「青年の読書活動—生涯学習の視点から」『社会教育』Vol.71(11). 26-34. 2016年11月
30. 「読解力の系統的発達を図る学校図書館活用プログラムに関する研究」人文学部紀要(40).. pp.49-62. 2020年3月
31. 「生涯学習のためのリテラシー」『社会教育』No.766. pp.12-23. 全日本社会教育連合会. 2021年6月
32. 「大学図書館のイノベーション5つの戦略」『私学経営』No.559. pp.32-42. 私学経営研究会. 2021年9月
33. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第1回変貌する世界の大学図書館ネットワーク」『私学経営』No.563. pp.49-58. 私学経営研究会. 2022年1月
34. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第2回オックスフォード大学の図書館」『私学経営』No.564. pp.60-67. 私学経営研究会. 2022年2月
35. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第3回ケンブリッジ大学図書館」『私学経営』No.566. pp.46-55. 私学経営研究会. 2022年4月
36. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第4回マンチェスター大学の図書館」『私学経営』No.567. pp.38-46. 私学経営研究会. 2022年5月
37. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第5回ソルボンヌ大学の図書館—オープンサイエンスへの挑戦」『私学経営』No.568. pp.28-35. 私学経営研究会. 2022年6月
38. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第6回MITの大学図書館—学士課程の研究を支える専門司書」『私学経営』No.570. pp.40-48. 私学経営研究会. 2022年8月
39. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第7回ブリティッシュ大学の図書館—変容的学習の実践」『私学経営』No.571. pp.43-50. 私学経営研究会. 2022年9月
40. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第8回図書館のデジタルシフト—ユニバーシティカレッジロンドン」『私学経営』No.572. pp.54-61. 私学経営研究会. 2022年10月
41. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第9回スタンフォード大学の図書館—

- 図書館の物語』『私学経営』No.573. pp.45-53. 私学経営研究会. 2022年11月
42. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第10回シェフィールド大学の図書館—総合的なコンテンツ戦略」『私学経営』No.574. pp.21-28. 私学経営研究会. 2022年12月
43. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第11回ハーバード大学の図書館—知のコミュニティ」『私学経営』No.575. pp.33-41. 私学経営研究会. 2023年1月
44. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第12回ワシントン大学の図書館—図書館とキャリアサービス」『私学経営』No.576. pp.33-39. 私学経営研究会. 2023年2月
45. 「大学図書館のマネジメント世界の大学に学ぶ 第13回世界の大学図書館—知識の保存から創造と普及へ—」『私学経営』No.577. pp.24-32. 私学経営研究会. 2023年3月

【雑誌論文その他】

1. 図書紹介 フェルナン・ブローデル「物質文明・経済・資本主義15～18世紀—日常性の構造（1、2）」『文明』47号、東海大学文明研究所、pp.99-106、1986年3月
2. 図書紹介 ピエール・ブルデュー「ディスタクシオン—趣味判断の社会的批判」『文明』58号、東海大学文明研究所、pp.62-67、1990年3月
3. 図書紹介「ワープロが社会を変える」『文明』66号、東海大学文明研究所、pp.7-102、1993年3月
4. 「公民館の事業企画のための調査方法」『月刊公民館』422号、第一法規、pp.14-17、1992年7月
5. 「地域の市民への学校開放」『悠』第9巻第10号、ぎょうせい、pp.90-91、1992年9月
6. 「市町村の生涯学習事業」『進ゼミエコール』12月号、日本ドリコム、pp.72-75、1992年12月
7. 「エデュケーティング・シティ—第2回教育都市国際会議の報告①—」『週刊教育資料』No.337、教育公論社、pp.28-29、1993年3月
8. 「エデュケーティング・シティ—第2回教育都市国際会議の報告②—」『週刊教育資料』No.338、教育公論社、pp.28-29、1993年3月
9. 「公民館とカルチャーセンターの相違点」『月刊公民館』5月号、第一法規、pp.38-39、1993年5月
10. 「生涯学習と国際理解」『自治体国際化フォーラム』49巻11月号、自治体国際化協会、pp.6-9、1993年7月
11. 「生涯学習の場としての家庭」家庭科学第6巻第3号、家庭科学研究所、pp.31-36、1994年
12. 「公民館活動の活発化の諸条件」月刊公民館通巻446号、第一法規、pp.5-31、1994年
13. 「生涯学習の概念と施設」公共建築第37巻第143号、公共建築協会、pp.11-14、1994年
14. 「地域の学習センターとしての機能(2)どんなプログラムがあるか」『悠』第11巻第1号、ぎょうせい、pp.82-83、1994年

15. 「高齢化社会における生涯学習と生きがい」『教職員の生涯設計』第11号、教職員生涯福祉財団、1995年1月
16. 「新しい学校像に対応する新指導力とは」学校運営研究 No.433、明治図書、pp.22-25、1995年
17. 「企画書を創る」『月刊公民館』467号、全国公民館連合会、pp.30-34、1996年4月
18. 「生涯学習プラン(1)学習の習慣」月刊シニアプラン6巻3号58号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.12-15、1996年6月
19. 「イメージによる効果的プレゼンテーション」『社会教育』601号、全日本社会教育連合会、pp.14-19、1996年7月
20. 「生涯学習プラン(2)必要は学習の母」月刊シニアプラン6巻4号59号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.8-11、1996年7月
21. 「生涯学習プラン(3)旅の教育力」月刊シニアプラン6巻5号60号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.10-13、1996年9月
22. 「第5回国際成人教育会議」『月刊公民館』473号、全国公民館連合会、pp.40-41、1996年10月
23. 「生涯学習プラン(4)博識と見識」月刊シニアプラン10月号6巻6号61号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.4-7、1996年10月
24. 「ライフスタイル」『月刊公民館』474号、全国公民館連合会、pp.32-35、1996年11月
25. 「生涯学習プラン(5)流行の力」月刊シニアプラン6巻7号62号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.4-7、1996年11月
26. 「生涯学習プラン(6)人生のテーマ」月刊シニアプラン6巻8号63号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.8-11、1996年12月
27. 「生涯学習プラン(7)時間の感覚」月刊シニアプラン6巻9号64号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.10-13、1997年1月
28. 「生涯学習プラン(8)白鳥の歌」月刊シニアプラン6巻10号65号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.8-11、1997年3月
29. 「生涯学習プラン(9)大地の音」月刊シニアプラン7巻1号66号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.8-11、1997年4月
30. 「生涯学習プラン(10)心の声」月刊シニアプラン7巻2号67号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.12-15、1997年5月
31. 「生涯学習プラン(11)自尊心について」月刊シニアプラン7巻3号68号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.8-11、1997年6月
32. 「生涯学習プラン(12)スタイルに学ぶ」月刊シニアプラン7巻4号69号、財団法人シニアプラン開発機構、pp.8-11、1997年7月
33. 「生涯学習社会と男女共同参画」『社会教育』614号、全日本社会教育連合会、pp.18-19、1997年8月
34. 「感動を呼ぶ」『月刊公民館』485号、全国公民館連合会、pp.29-31、1997年10月
35. 「マネージメント」『月刊公民館』486号、全国公民館連合会、pp.28-31、1997年11月

36. 「メディア環境の進化と教育」『週間教育資料』570号4月、日本教育新聞社、pp.42-43、1998年4月
37. 「生涯にわたるメディア・リテラシー（上）」『週間教育資料』575号5月、日本教育新聞社、pp.30-31、1998年5月
38. 「生涯にわたるメディア・リテラシー（下）」『週間教育資料』577号5月、日本教育新聞社、pp.34-35、1998年5月
39. 「生涯学習スタッフの養成プログラムの実態に関する国際比較研究」国立教育研究所広報115号、国立教育研究所、pp.2-3、1998年7月
40. 「グローバルな視点からのメディア教育」『週間教育資料』582号7月、日本教育新聞社、pp.34-35、1998年7月
41. 「メディアを支える社会的基盤」『週間教育資料』586号8月、日本教育新聞社、pp.34-35、1998年8月
42. 「コンピュータ導入の賛否両論」『週間教育資料』590号9月、日本教育新聞社、pp.34-35、1998年9月
43. 「パネルディスカッション：心豊かな生涯学習の実現を目指して—これからの視聴覚教育のありかたを考える—」（共著）『視聴覚教育』1998年10月号 vol52、日本視聴覚協会、pp.12-19、1998年10月
44. 「子どもの創造力を育てる学習環境（上）」『週間教育資料』594号10月、日本教育新聞社、pp.34-35、1998年10月
45. 「学習の文化を育てる」『月刊公民館』1998年11月号第498号、第一法規、pp.30-31、1998年11月
46. 「子どもの創造力を育てる学習環境（下）」『週間教育資料』598号11月、日本教育新聞社、pp.34-35、1998年11月
47. 「学習の経験」『放送教育』1998年12月号53巻9号、日本放送教育協会、pp.38-41、1998年12月
48. 「職業生活と学習スタイルの変容（上）」『週間教育資料』602号12月、日本教育新聞社、pp.34-35、1998年12月
49. 「人間の関係」『放送教育』53巻10号、日本放送教育協会、pp.44-47、1999年1月
50. 「職業生活と学習スタイルの変容（下）」『週間教育資料』606号1月、日本教育新聞社、pp.34-35、1999年1月
51. 「ユネスコの生涯学習」『社会教育』632号、全日本社会教育連合会、pp.6-10、1999年2月
52. 「成人学習と変化する労働の世界」『社会教育』632号、全日本社会教育連合会、pp.20、1999年2月
53. 「成人学習の経済学」『社会教育』632号、全日本社会教育連合会、pp.30、1999年2月
54. 「座談会地域の教育—こんな公民館を作ってほしい—」（共著）『月刊公民館』第501号、第一法規、pp.4-27、1999年2月
55. 「男女共同参画のためのメディア教育」『週間教育資料』610号2月、日本教育新聞社、

pp.34-35、1999年2月

56. 「新世代の参画学習へ」『月刊公民館』第502号、第一法規、pp.26-27、1999年3月
57. 「ビデオサークル考」『視聴覚教育』vo53、日本視聴覚協会、pp.5-7、1999年3月
58. 「成人のための環境教育」『週間教育資料』616号3月、日本教育新聞社、pp.27-29、1999年3月
59. 「人間の限界とメディア活用」『週間教育資料』614号3月、日本教育新聞社、pp.34-35、1999年3月
60. 「公民館のホームページを作ろう」『月刊公民館』510号、第一法規、pp.30-31、1999年11月
61. 「生涯学習社会におけるメディア・リテラシー」『教育と情報』No.502、第一法規、pp.48-51、2000年1月
62. 「『ケルン憲章—生涯学習の目的と希望』を読む」『社会教育』643号、全日本社会教育連合会、pp.12-14、2000年1月
63. 「ミュージー—音楽の心と生涯学習の原則」『音楽文化の創造』第16号、音楽文化創造、pp.66-69、2000年3月
64. 「感情のテクノロジー (上)」『放送教育』No.627、日本放送教育協会、pp.48-51、2000年6月
65. 「感情のテクノロジー (下)」『放送教育』No.628、日本放送教育協会、pp.40-43、2000年7月
66. 「自己表現の工夫」『学びの広場』第7号、長崎県民大学、pp.1-2、2000年12月
67. 「エンパワーメント—女性への支援」『月刊公民館』527号、第一法規、pp.28-29、2001年4月
68. 「ITに挑戦」『月刊公民館』530号、第一法規、pp.25-28、2001年7月
69. 「生涯学習の動向」『人文学と情報処理』vol.36、勉誠出版、pp.113-115、2001年9月
70. 「生涯学習音楽指導員に期待されるもの—指導者のスタンスについて」『音楽文化の創造』第24号、音楽文化創造、pp.26-27、2002年3月
71. 「学びの扉 『まねる』は自然の本能」日本経済新聞夕刊、2002年11月1日
72. 「学びの扉 誰でもともせる心の灯」日本経済新聞夕刊、2002年11月29日
73. 「学びの扉 自分史語る冒険いかが」日本経済新聞夕刊10面、2002年12月27日
74. 「学びの扉 相手に関心、深まる理解」日本経済新聞夕刊14面、2003年1月31日
75. 「学びの扉 マイペースで丁寧な人生」日本経済新聞夕刊14面、2003年2月28日
76. 「学びの扉 音楽の喜び分かち合う」日本経済新聞夕刊10面、2003年4月4日
77. 「学びの扉 学び続ける秘訣」日本経済新聞夕刊10面、2003年5月2日
78. 「学びの扉 最善の選択とは」日本経済新聞夕刊14面、2003年5月30日
79. 「学びの扉 地図のない世界」日本経済新聞夕刊14面、2003年6月27日
80. 「学びの扉 虎ファンの忸怩たる思い」日本経済新聞夕刊10面、2003年7月25日
81. 「学びの扉 ちょっとした工夫」日本経済新聞夕刊10面、2003年8月22日
82. 「学びの扉 学びを支える人のぬくもり」日本経済新聞夕刊10面、2003年9月19日

83. 「社会教育専門ゼミナール①生涯学習の意義」『社会教育』第58巻4月号、全日本社会教育連合会、pp.38-39、2003年4月
84. 「生涯学習センターへの提言」『社会教育』、全日本社会教育連合会、pp.10-13、2003年9月
85. 「社会教育専門ゼミナール⑨プレゼンテーション」『社会教育』第59巻10月号、全日本社会教育連合会、pp.76-77、2004年10月
86. 「生涯にわたる読書の楽しみ」『社会教育』710号、全日本社会教育連合会、pp.56-57、2005年8月
87. 「生涯にわたる健康な習慣づくりのために」社会教育、全日本社会教育連合会、pp.28-31、2006年6月
88. 「「キー・コンピテンシーからの教員評価」」学校マネジメント、明治図書、pp.10-12、2008年12月
89. 「社会の形成者に必要なキー・コンピテンシー」社会科教育46巻1号、明治図書、pp.98、2009年1月
90. 「キー・コンピテンシーの国際的動向(1)」文部科学教育通信 No214、ジアース教育新社、pp.28-29、2009年
91. 「キー・コンピテンシーの国際的動向(2)」文部科学教育通信 No215、ジアース教育新社、pp.26-27、2009年
92. 「キー・コンピテンシーの国際的動向(3)」文部科学教育通信 No216、ジアース教育新社、pp.20-21、2009年
93. 「キー・コンピテンシーの国際的動向(4)」文部科学教育通信 No217、ジアース教育新社、pp.20-21、2009年
94. 「知識基盤社会」月刊『指導と評価』Vol.56、pp.2-3、2010年9月
95. 「生涯にわたる読書活動—読書への関わり」文部科学教育通信 No256、ジアース教育新社、pp.18-19、2010年11月
96. 「科学的根拠に基づく思考力（教師の人間力—キー・コンピテンシーを考える）」『学校マネジメント』Vol.49(1)、明治図書、pp.64-67、2010年1月
97. 「教育技術の向上をめざして（教師の人間力—キー・コンピテンシーを考える）」『学校マネジメント』Vol.49(2)、明治図書、pp.64-67、2010年2月
98. 「熟練教師の人間力（教師の人間力—キー・コンピテンシーを考える）」『学校マネジメント』Vol.49(3)、明治図書、pp.64-67、2010年3月
99. 「新『社会教育論者の群像』—社会教育を支えた人たち（第8回）駒田錦一（1907～2002）—青年教育の実践と研究、国際比較研究の先達者」社会教育66(4)、pp.42-45、2011年4月
100. 「新『社会教育論者の群像』—社会教育を支えた人たち（第11回）原田種雄（1912～2007）—国際比較研究と教科書研究の先駆者」社会教育66(10)、pp.90-93、2011年10月
101. 「音楽文化活動を通じた地域社会の「きずな」作り」季刊 CMCvol.60、(財)音楽文化創造、pp.45-46、2011年4月

102. 「eポートフォリオの可能性」文部科学教育通信 No274、ジアース教育新社、pp.22-23、2011年8月
103. 「eポートフォリオの目的と種類」文部科学教育通信 No275、ジアース教育新社、pp.22-23、2011年9月
104. 「多様なデザインの可能性」文部科学教育通信 No276、ジアース教育新社、pp.22-23、2011年9月
105. 「ウィスコンシン大学のEPCS」文部科学教育通信 No277、ジアース教育新社、pp.22-23、2011年10月
106. 「教員スタンダード取得の仕組み」文部科学教育通信 No278、ジアース教育新社、pp.22-23、2011年10月
107. 「資質向上に効果的なeポートフォリオ」文部科学教育通信 No279、ジアース教育新社、pp.22-23、2011年11月
108. 「OECD『成人力調査の概要』(1)」社教情報68、全国社会教育委員連合、pp.57-59、2013年2月
109. 「eポートフォリオの定義再考」文部科学教育通信 No313、ジアース教育新社、pp.16-17、2013年4月
110. 「知識のフローツールとしてのeポートフォリオ」文部科学教育通信 No314、ジアース教育新社、pp.16-17、2013年4月
111. 「大学と社会の新たな学習環境の形成に向けて」文部科学教育通信 No315、ジアース教育新社、pp.16-17、2013年5月
112. 「大学と社会の新たな学習環境の形成に向けて」文部科学教育通信 No317、ジアース教育新社、pp.16-17、2013年6月
113. 「学習支援の7つの原理」文部科学教育通信 No.318、ジアース教育新社、pp.16-17、2013年6月
114. 「日本の学校外教育の役割と評価」教育展望 Vol.59(5)、教育調査研究所、pp.28-32、2013年6月
115. 「大学の広報・広聴事業」文部科学教育通信 No319、ジアース教育新社、pp.16-17、2013年7月
116. 「OECD『成人力』調査の概要(その1)」社教情報68、全国社会教育委員連合、pp.57-59、2013年2月
117. 「OECD『成人力』調査の概要(その2)」社教情報69、全国社会教育委員連合、pp.58-60、2013年9月
118. 「OECD『成人力』調査の概要(その3)」社教情報70、全国社会教育委員連合、pp.21-23、2014年2月
119. 「学習の習慣—学修支援の基本的前提」文部科学教育通信 No.348、ジアース教育新社、pp.16-17、2014年10月
120. 「学習の習慣—学修支援の基本的前提として」文部科学教育通信 No.348、pp.16-17、ジアース教育新社、2014年9月

121. 「学習支援の教育方法—ノートテイキング(1)」文部科学教育通信 No.349, pp.16-17, ジアース教育新社, 2014年10月
122. 「学習支援の教育方法—ノートテイキング(2)」文部科学教育通信 No.350, pp.16-17, ジアース教育新社, 2014年10月
123. 「教職課程へのeポートフォリオの導入実験」文部科学教育通信 No.364, pp.26-27, ジアース教育新社, 2015年5月
124. 「LMSとモード2への移行の中で」文部科学教育通信 No.365, pp.18-19, ジアース教育新社, 2015年6月
125. 「自然体験活動指導者の資格取得」文部科学教育通信 No.373, pp.18-19, ジアース教育新社, 2015年10月
126. 「コミュニティ・ラーニング・キャンパス(1)」文部科学教育通信 No.374, pp.18-19, ジアース教育新社, 2015年10月
127. 「コミュニティ・ラーニング・キャンパス(2)」文部科学教育通信 No.375, pp.32-33, ジアース教育新社, 2015年11月
128. 「コミュニティ・ラーニング・キャンパス(3)」文部科学教育通信 No.376, pp.18-19, ジアース教育新社, 2015年11月
129. 「コミュニティ・ラーニング・キャンパス(4)」文部科学教育通信 No.377, pp.28-29, ジアース教育新社, 2015年12月
130. 「学習支援の教育方法第71回 大学生の基礎力(1)」文部科学教育通信 No.393, pp.26-27, ジアース教育新社, 2016年8月
131. 「学習支援の教育方法第72回 大学生の基礎力(2)」文部科学教育通信 No.394, pp.24-25, ジアース教育新社, 2016年8月
132. 「学習支援の教育方法第74回 大学生の基礎力(4)」文部科学教育通信 No.396, pp.24-25, ジアース教育新社, 2016年9月
133. 「グローバル・コンピテンシーの育成—高大接続の視点から—」アルカディア学報599、教育学術新聞2662、2016年10月
134. 「学習支援の教育方法第84回 eポートフォリオによる学習マネジメント(1)」文部科学教育通信 No.407, pp.30-31, 2017年3月
135. 「学習支援の教育方法第85回 eポートフォリオによる学習マネジメント(2)」文部科学教育通信 No.408, pp.12-13, 2017年3月
136. 「学習支援の教育方法(第94回)教員のコンピテンシー向上に向けて」文部科学教育通信 No.419, pp.14-15, ジアース教育新社, 2017年9月
137. 「世界の大学に見る学習(第1回)学習支援の国際的展望に向けて」文部科学教育通信 No.437, pp.20-21, ジアース教育新社, 2018年5月
138. 「世界の大学に見る学習(第2回)大学の未来とシナリオ」文部科学教育通信 No.438, pp.20-21, ジアース教育新社, 2018年6月
139. 「世界の大学に見る学習(第3回)世界の大学ネットワーク」文部科学教育通信 No.439, pp.14-15, ジアース教育新社, 2018年7月

140. 「世界の大学に見る学習 (第4回) ミシガン大学のラーニング・アナリティクス」文部科学教育通信 No440, pp.14-15, ジアース教育新社, 2018年7月
141. 「世界の大学に見る学習 (第5回) 気候変動教育への取り組み」文部科学教育通信 No441, pp.14-15, ジアース教育新社, 2018年8月
142. 「世界の大学に見る学習 (第6回) オックスフォード大学の教育的伝統」文部科学教育通信 No442, pp.30-31, ジアース教育新社, 2018年8月
143. 「世界の大学に見る学習 (第7回) オックスフォード大学の図書館」文部科学教育通信 No443, pp.20-21, ジアース教育新社, 2018年9月
144. 「世界の大学に見る学習 (第8回) ケンブリッジ大学の科学的伝統」文部科学教育通信 No444, pp.20-21, ジアース教育新社, 2018年9月
145. 「世界の大学に見る学習 (第14回) 大学を越える社会的認定システム」文部科学教育通信 No450, pp.20-21, ジアース教育新社, 2018年12月
146. 「世界の大学に見る学習 (第23回) 大人教授業とアクティブラーニング」文部科学教育通信 No461, pp.24-25, ジアース教育新社, 2019年6月
147. 「世界の大学に見る学習 (第24回) 大人教授業とアクティブラーニング (続)」文部科学教育通信 No462, pp.34-35, ジアース教育新社, 2019年6月
148. 「世界の大学に見る学習 (第27回) ラーニング・スペース(1)」文部科学教育通信 No465, pp.32-33, ジアース教育新社, 2019年8月
149. 「世界の大学に見る学習 (第28回) ラーニング・スペース(2)」文部科学教育通信 No466, pp.24-25, ジアース教育新社, 2019年8月
150. 「離学率減少と修学・就労支援へ 神戸学院大で『学生の未来センター』開設」アルカディア学報664、教育学術新聞2796、2020年2月
151. 「世界の大学に見る学習第41回サウサンプトン大学のヘルス・リテラシー」文部科学教育通信 No.481, pp.20-22, ジアース教育新社, 2020年4月
152. 「世界の大学に見る学習第42回スタンフォード大学のdスクール」文部科学教育通信 No.482, pp.18-19, ジアース教育新社, 2020年4月
153. 「大学図書館のイノベーションー変わりゆく読書と学習の環境」教育学術新聞2806, pp.3, 2020年5月
154. 「世界の大学に見る学習第43回学習のユニバーサル・デザイン・スタジオ スタンフォード大学」文部科学教育通信 No.483, pp.38-39, ジアース教育新社, 2020年5月
155. 「世界の大学に見る学習第44回 UBC のオンラインコース」文部科学教育通信 No.485, pp.36-37, ジアース教育新社, 2020年6月
156. 「世界の大学に見る学習第45回ニューヨーク大学芸術学部」文部科学教育通信 No.486, pp.28-29, ジアース教育新社, 2020年6月
157. 「世界の大学に見る学習第46回ニューヨーク州立大学」文部科学教育通信 No.487, pp.22-23, ジアース教育新社, 2020年7月
158. 「世界の大学に見る学習第47回オンライン教育支援システム(1)」文部科学教育通信 No.488, pp.28-29, ジアース教育新社, 2020年7月

159. 「世界の大学に見る学習第48回オンライン教育支援システム(2)」文部科学教育通信 No. 489, pp.28-29, ジアース教育新社, 2020年8月
160. 「なぜ『学び直し』？」日本労働研究雑誌 No.721, pp.1, 2020年8月
161. 「世界の大学に見る学習第49回オンライン教育支援システム(3)」文部科学教育通信 No. 491, pp.24-25, ジアース教育新社, 2020年9月
162. 「世界の大学に見る学習第50回オンライン教育支援システム(4)」文部科学教育通信 No. 492, pp.24-25, ジアース教育新社, 2020年9月
163. 「世界の大学に見る学習第51回オンライン教育支援システム(5)」文部科学教育通信 No. 493, pp.26-27, ジアース教育新社, 2020年10月
164. 「世界の大学に見る学習第52回オンライン教育支援システム(6)オープン教育リソース」文部科学教育通信 No.494, pp.30-31, ジアース教育新社, 2020年10月
165. 「世界の大学に見る学習第53回ジョージア大学の経験学習」文部科学教育通信 No.496, pp.28-29, ジアース教育新社, 2020年11月
166. 「世界の大学に見る学習第54回グリニッジ大学のゲーミフィケーション」文部科学教育通信 No.497, pp.26-27, ジアース教育新社, 2020年12月
167. 「世界の大学に見る学習第55回オールボー大学の問題解決学習」文部科学教育通信 No. 498, pp.26-27, ジアース教育新社, 2020年12月
168. 「世界の大学に見る学習第56回問題解決学習を担うヨーロッパ大学コンソーシアム」文部科学教育通信 No.499, pp.30-31, ジアース教育新社, 2021年1月
169. 「大学図書館の挑戦—学術と地域つなぎ知と文化創出の場へ」アルカディア学報720, 教育学術新聞2835, pp.2, 2021年3月
170. 「世界の大学に見る学習第64回バルセロナ自治大学」文部科学教育通信 No.507, pp.20-21, ジアース教育新社, 2021年5月
171. 「世界の大学に見る学習第65回ヘルシンキ大学における持続可能性学習の必修化」文部科学教育通信 No.508, pp.18-19, ジアース教育新社, 2021年5月
172. 「世界の大学に見る学習第66回マッコーリー大学—教員のための AI 教育コース」文部科学教育通信 No.509, pp.18-19, ジアース教育新社, 2021年6月
173. 「世界の大学に見る学習第67回オークランド大学—大学内企業の発展」文部科学教育通信 No.510, pp.30-31, ジアース教育新社, 2021年6月
174. 「世界の大学に見る学習第68回トロント大学—多元的知性の学習」文部科学教育通信 No.511, pp.30-31, ジアース教育新社, 2021年7月
175. 「世界の大学に見る学習第69回アールト大学の創造的持続可能性プログラム」文部科学教育通信 No.512, pp.28-29, ジアース教育新社, 2021年7月
176. 「世界の大学に見る学習第70回イェール大学—情動的知性の学習」文部科学教育通信 No.513, pp.26-27, ジアース教育新社, 2021年8月
177. 「世界の大学に見る学習第71回イェール大学—情動的知性の学習(2)」文部科学教育通信 No.514, pp.26-27, ジアース教育新社, 2021年8月
178. 「世界の大学に見る学習第72回アリゾナ大学—学習イニシアティブ」文部科学教育通

- 信 No.516, pp.26-27, ジアース教育新社, 2021年9月
179. 「世界の大学に見る学習第73回アリゾナ大学—学習イニシヤティブ (続)」 文部科学教育通信 No.517, pp.26-27, ジアース教育新社, 2021年10月
180. 「世界の大学に見る学習第82回海洋学を学ぶ—ノルウェー ベルゲン大学」 文部科学教育通信 No.526, pp.36-37, ジアース教育新社, 2022年2月
181. 「世界の大学に見る学習第83回世界の大洋で学ぶ旅—ノルウェー ベルゲン大学」 文部科学教育通信 No.527, pp.36-37, ジアース教育新社, 2022年3月
182. 「世界の大学に見る学習第84回星から学ぶ—ハーバード大学天体物理学センター」 文部科学教育通信 No.528, pp.42-44, ジアース教育新社, 2022年3月
183. 「世界の大学に見る学習第85回進化する繊維を学ぶ—スウェーデン ボラス大学」 文部科学教育通信 No.529, pp.24-25, ジアース教育新社, 2022年3月
184. 「世界の大学に見る学習第86回スイス チューリッヒ工科大学 (地理を学ぶ)」 文部科学教育通信 No.530, pp.28-29, ジアース教育新社, 2022年4月
185. 「世界の大学に見る学習第87回コミュニケーションの未来—アムステルダム大学」 文部科学教育通信 No.531, pp.28-29, ジアース教育新社, 2022年5月
186. 「世界の大学に見る学習第88回オープン・カリキュラム—ブラウン大学」 文部科学教育通信 No.532, pp.30-31, ジアース教育新社, 2022年5月
187. 「世界の大学に見る学習第89回持続可能な大学—サセックス大学」 文部科学教育通信 No.533, pp.30-31, ジアース教育新社, 2022年6月
188. 「世界の大学に見る学習第90回生物多様性を学ぶ—ワーヘニンゲン大学・研究センター」 文部科学教育通信 No.534, pp.34-35, ジアース教育新社, 2022年6月
189. 「世界の大学に見る学習第91回高齢者に優しいダブリンシティ大学」 文部科学教育通信 No.535, pp.22-23, ジアース教育新社, 2022年7月
190. 「世界の大学に見る学習第92回K Uルーヴェンの革新的戦略」 文部科学教育通信 No.536, pp.24-25, ジアース教育新社, 2022年7月
191. 「世界の大学に見る学習第93回教育の質の文化—K Uルーヴェン」 文部科学教育通信 No.537, pp.24-25, ジアース教育新社, 2022年8月
192. 「世界の大学に見る学習第94回フィードバックリテラシーの向上—K Uルーヴェン」 文部科学教育通信 No.538, pp.24-25, ジアース教育新社, 2022年8月
193. 「世界の大学に見る学習第95回学術的教授・学習センター—ユトレヒト大学」 文部科学教育通信 No.539, pp.24-25, ジアース教育新社, 2022年9月
194. 「世界の大学に見る学習第96回起業家センター—ユトレヒト大学」 文部科学教育通信 No.540, pp.28-29, ジアース教育新社, 2022年9月
195. 「世界の大学に見る学習第97回量子コンピュータの教育—ベルフト大学」 文部科学教育通信 No.541, pp.28-29, ジアース教育新社, 2022年10月
196. 「世界の大学に見る学習第98回国立ロボタリウム—ヘリオットワット大学」 文部科学教育通信 No.542, pp.28-29, ジアース教育新社, 2022年10月
197. 「世界の大学に見る学習第99回テクノロジーの未来へ—エディンバラ大学」 文部科学

- 教育通信 No.543, pp.30-31, ジアース教育新社, 2022年11月
198. 「世界の大学に見る学習第100回こころと手 マサチューセッツ工科大学」文部科学教育通信 No.544, pp.30-31, ジアース教育新社, 2022年11月
199. 「世界の大学に見る学習第101回地域社会から国際社会へ マサチューセッツ工科大学」文部科学教育通信 No.545, pp.24-25, ジアース教育新社, 2022年12月
200. 「世界の大学に見る学習第102回 MIT とハーバード大学」文部科学教育通信 No.546, pp.22-23, ジアース教育新社, 2022年12月
201. 「世界の大学に見る学習第103回シンガポール国立大学」文部科学教育通信 No.547, pp.24-25, ジアース教育新社, 2023年1月
202. 「世界の大学に見る学習第104回ウェルビーイングのための共感と回復」文部科学教育通信 No.548, pp.20-21, ジアース教育新社, 2023年1月
203. 「世界の大学に見る学習第109回広域学習システムの発展に向けて」文部科学教育通信 No.553, pp.18-19, ジアース教育新社, 2023年4月
204. 「世界の大学に見る学習第110回生涯学習の態度形成における教育者の役割」文部科学教育通信 No.554, pp.20-21, ジアース教育新社, 2024年4月
205. 「世界の教育リーダー第1回教育におけるリーダーシップ」文部科学教育通信 No.555, pp.18-19, ジアース教育新社, 2023年5月
206. 「世界の教育リーダー第2回ジェローム・ブルーナー(1)」文部科学教育通信 No.556, pp.14-15, ジアース教育新社, 2023年5月
207. 「世界の教育リーダー第3回ジェローム・ブルーナー(2)」文部科学教育通信 No.557, pp.12-13, ジアース教育新社, 2023年6月
208. 「世界の教育リーダー第4回ジェローム・ブルーナー(3)」文部科学教育通信 No.558, pp.14-15, ジアース教育新社, 2023年6月
209. 「世界の教育リーダー第8回学習する組織(1) ピーター・センゲ」文部科学教育通信 No.562, pp.12-13, ジアース教育新社, 2023年8月
210. 「世界の教育リーダー第9回学習する組織(2) ピーター・センゲ」文部科学教育通信 No.563, pp.10-11, ジアース教育新社, 2023年9月
211. 「世界の教育リーダー第10回学習する組織(3) ピーター・センゲ」文部科学教育通信 No.564, pp.10-11, ジアース教育新社, 2023年9月
212. 「世界の教育リーダー第11回生涯学習の先駆者—ポール・ラングラン(1)」文部科学教育通信 No.565, pp.10-11, ジアース教育新社, 2023年10月
213. 「世界の教育リーダー第12回生涯学習の先駆者—ポール・ラングラン(2)」文部科学教育通信 No.566, pp.12-13, ジアース教育新社, 2023年10月
214. 「世界の教育リーダー第13回生涯学習の先駆者—ポール・ラングラン(3)」文部科学教育通信 No.567, pp.10-11, ジアース教育新社, 2023年11月
215. 「大学図書館のキャリア学習支援—スムーズな学内支援に向けて」アルカディア学報 720, 教育学術新聞2946, pp.2, 2023年11月
216. 「新刊紹介 新居田久美子著『ライフソリューションをはじめよう わたしを育てる

キャリアデザイン』『H&S 人間文化』、2023年12月

217. 「第3章地域社会活動・生涯学習 I 地域社会とのかかわり II 地域社会に関わるポイント」『教職員の生涯生活設計ガイドブック ライフマップー実りある明日を作るために』（令和5年版 pp.31-35, 一般財団法人教職員生涯福祉財団、2024年2月
218. 「地域社会では ①さまざまな地域社会活動 ②地域社会活動への参加のポイント」『教職員の生涯生活設計ガイドブック セカンドライフマップー豊かで明るい退職後のために』（令和5年版 pp.18-20, 一般財団法人教職員生涯福祉財団、2024年2月